

No. 13 「地理」 × 「情報」

【授業者】西林諒（情報科）、小島欣幸（社会科）

【対 象】普通科 1 年生

【日 時】令和 8 年 2 月 5 日（木）

【テーマ】主観的な要素のデータ化と可視化

【内 容】教科横断型授業として、「主観的な要素のデータ化と可視化」について情報科と地理科の両面から学ぶ授業を実施しました。地理科の視点では「教室の寒さ」の原因を、窓際や廊下側といった物理的・地理的な場所の影響から分析しました。続いて情報科の視点から、個人の「寒い」という主観的な感覚をデータ化し、棒グラフや階級区分図を用いて他者を説得するための効果的な可視化手法を学びました。授業の最後には、学校の予算等の制約も踏まえ、データに基づいた「妥協案（代替案）」を論理的に再提案するワークを行いました。生徒からは、「主観的な感情も可視化すれば社会を動かすツールになることが分かった」「場所の影響を分析することの重要性を理解した」などの感想が寄せられ、深い学びにつながる授業となりました。

